

2022年11月30日

2022年冬のボーナスの使い道に関する調査について

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	県民の2022年冬のボーナスに関する動向を調査し、卸・小売事業者や金融業などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。
調査時期	2022年11月中旬
調査方法 ^注	南日本新聞社の「みなみパス会員」による「みなみアンケート」(インターネット調査)にて、冬のボーナスの支給の予定がある方を対象に実施
回答数	有効回答数 370人
回答者属性	<p>【性別】 男性 43.2% 女性 56.2% 不明 0.5%</p> <p>【年齢別】 10代 0.3% 20代 1.9% 30代 8.4% 40代 28.6%</p> <p>50代 44.9% 60代 14.6% 70代以上 1.4%</p> <p>【地域別】 鹿児島地区 39.2% 南薩地区 7.0%</p> <p>北薩地区 13.2% 姪良・伊佐地区 17.0%</p> <p>大隅地区 16.8% 熊毛・大島地区 4.1%</p> <p>不明 2.7%</p>

【調査結果のポイント】

- 今冬のボーナスが前年(2021年冬)と比較して、「増えそう」と回答した割合は全体の16.2%だった。一方、「変わらない」は62.7%、「減りそう」は21.1%だった。
- 今冬のボーナスの使い道は、「生活費の補てん」(59.7%)が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」(44.3%)、「ローン返済」(26.8%)、「旅行・レジャー費」(20.3%)と続いた。足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に使う傾向は依然として強い。
- 年代別にみると、どの年代も上位2項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3位の項目は年代別に違いがみられた。

^注 前年までは鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者を対象に聞き取り調査を実施。今回調査と調査方法・対象などが異なることから、前年調査結果と単純な比較はできない。

1. 2022年冬のボーナスの増減予想について

2022年冬のボーナスが前年（21年冬）と比較してどうなるか尋ねたところ、前年より「増えそう」（「増えそう」と「やや増えそう」の合計）は全体の16.2%だった（図表 1-1）。一方、「変わらない」は62.7%、「減りそう」（「減りそう」と「やや減りそう」の合計）は21.1%だった。年代別にみると、「増えそう」と回答した割合が20代～50代で全体平均以上となり、「減りそう」と回答した割合が50代、60代で全体平均より高くなった。50代では「増えそう」、「減りそう」と回答した割合がどちらも全体平均より高かった。

当研究所が今年6月に実施した前回調査（22年夏）では「増えそう」が全体の11.5%、「変わらない」が51.3%、「減りそう」は37.3%だった（図表 1-2）。

また調査方法は異なるが、前年調査（21年冬）では「増えそう」が全体の8.5%、「変わらない」が67.2%、「減りそう」が24.3%であった（図表 1-3）。値上げラッシュが続く中、ボーナス増額への期待が強まっている傾向が表れた。

2. 2022年冬のボーナスの使い道について

2022年冬のボーナスの使い道について尋ねたところ、「生活費の補てん」（59.7%）が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」（44.3%）、「ローン返済」（26.8%）、「旅行・レジャー費」（20.3%）と続いた（図表 2-1）。今年夏の前回調査や、調査方法は異なるが前年調査（21年冬）でも「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」の順に多いという傾向は変わらず、足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に充てる傾向は依然として根強い。

男女別にみると、男性は「生活費の補てん」「ローン返済」「教育費」と回答した割合が女性より高く、女性は「旅行・レジャー費」「衣料品などの購入」「理美容費」と回答した割合が男性より高かった（図表 2-2）。

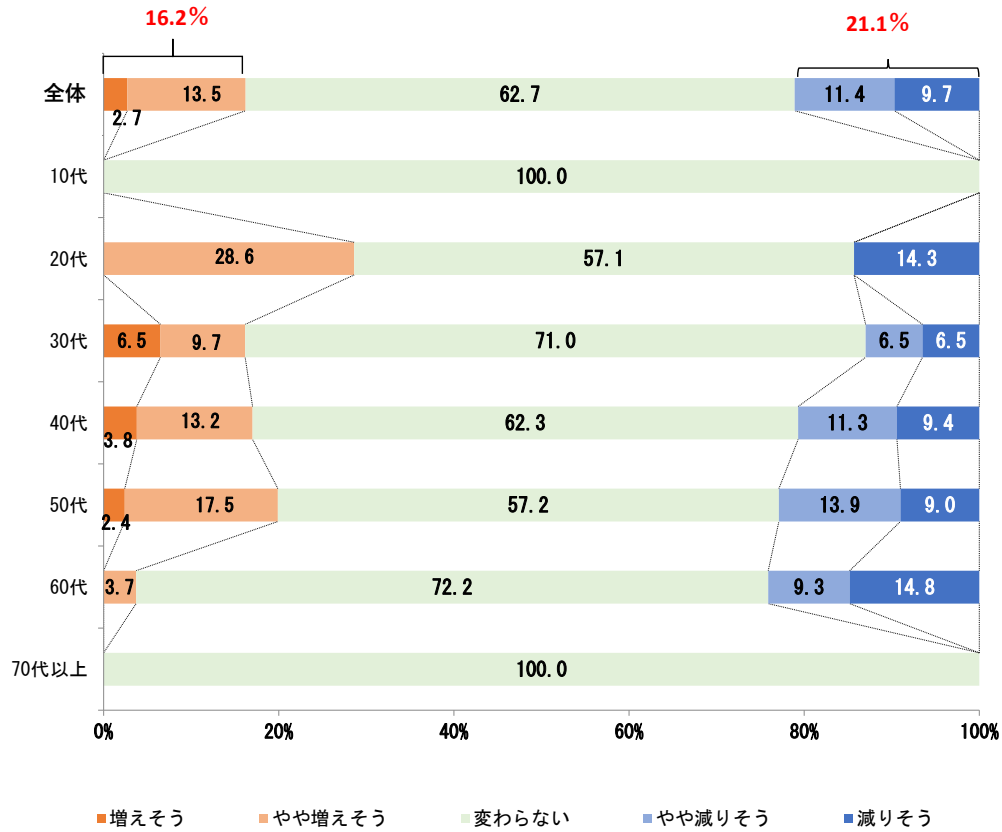
また、年代別にみると、どの年代も上位2項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3位の項目は年代別に違いがみられた（図表 2-3）。

以上

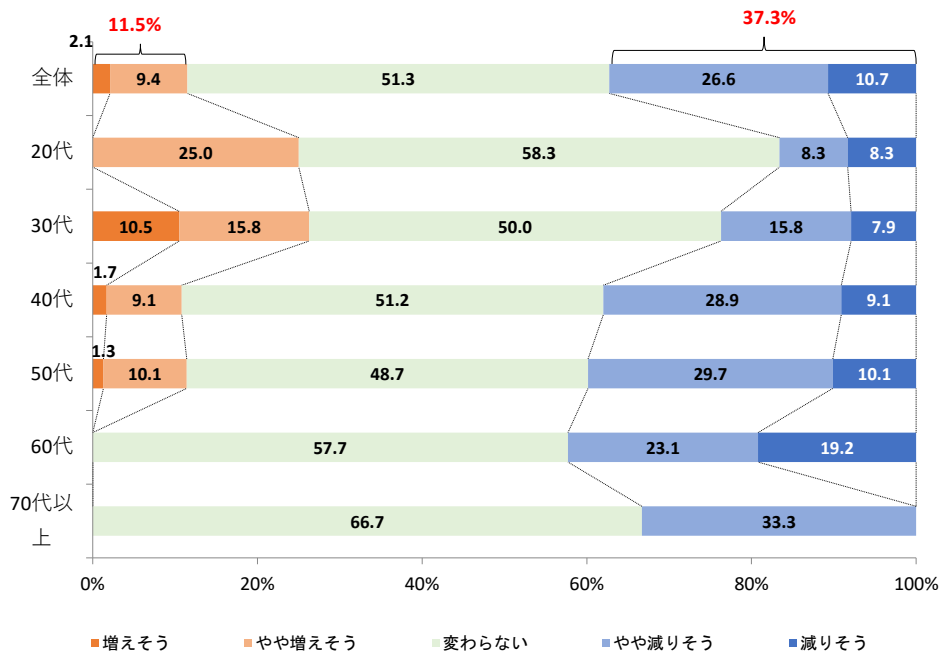
【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）

【2022年冬のボーナスについて】

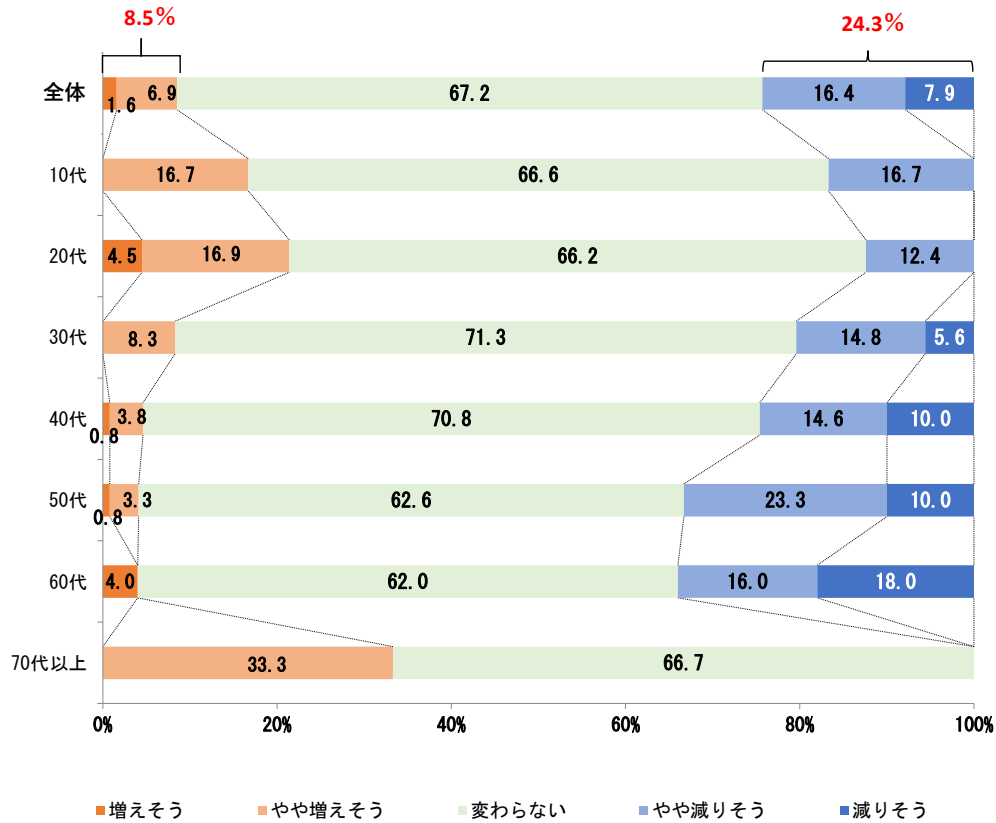
図表 1-1 2022年冬のボーナスの増減予想



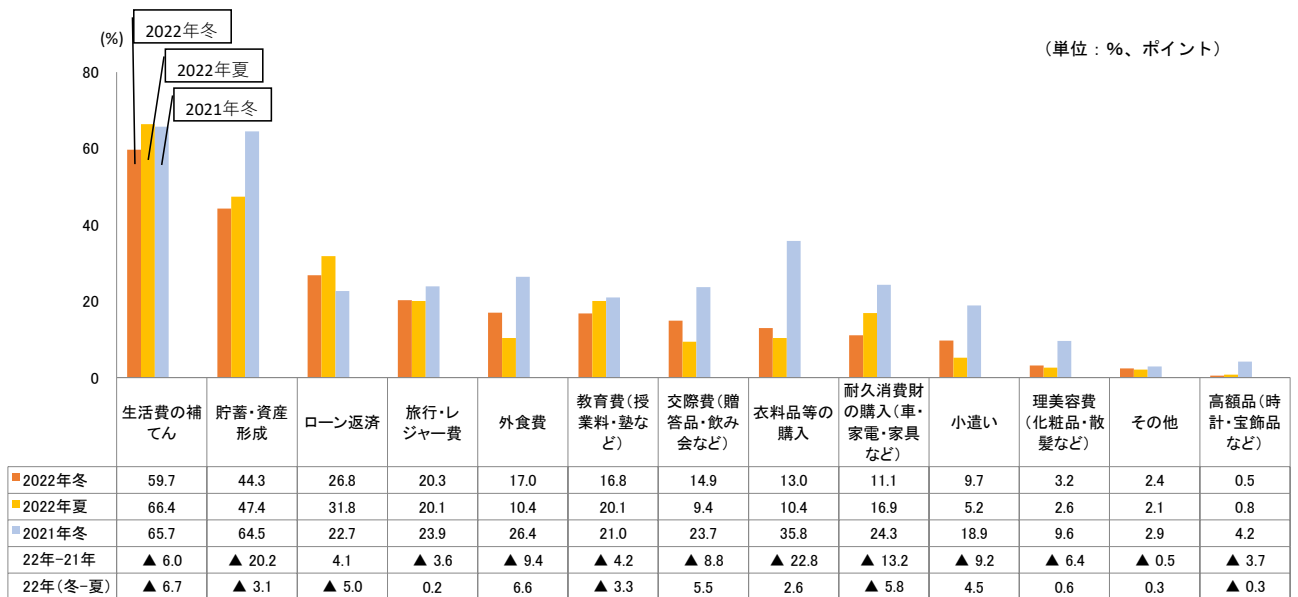
図表 1-2 【参考】（前回調査）2022年夏のボーナスの増減予想



図表 1-3 【参考】（前年調査）2021年冬のボーナスの増減予想



図表 2-1 冬のボーナスの使い道（全体）



注) 複数回答、以下同じ

図表 2-2 冬のボーナスの使い道（男女別）

項目	全体	男性	女性
生活費の補てん	59.7	66.3	54.3
貯蓄・資産形成	44.3	45.0	43.8
ローン返済	26.8	32.5	22.6
旅行・レジャー費	20.3	13.8	25.5
外食費	17.0	14.4	19.2
教育費(授業料・塾など)	16.8	19.4	14.4
交際費(贈答品・飲み会など)	14.9	13.1	16.3
衣料品等の購入	13.0	10.0	15.4
耐久消費財の購入(車・家電・家具など)	11.1	9.4	12.5
小遣い	9.7	8.8	10.6
理美容費(化粧品・散髪など)	3.2	0.0	5.8
高額品(時計・宝飾品など)	0.5	0.6	0.5
その他	2.4	1.3	3.4

図表 2-3 冬のボーナスの使い道（年代別）

	1位	2位	3位
全体			ローン返済
20代	生活費の補てん	貯蓄・資産形成	耐久消費財の購入、小遣い、その他
30代			ローン返済
40代			ローン返済
50代			ローン返済
60代			外食費
70代以上			衣料品等の購入、旅行・レジャー費、外食費

注)20代、30代は1位の「生活費の補てん」と2位の「貯蓄・資産形成」は同数